

2026年度 中番小学校研究推進の方向性

中番小学校研究推進

4月現在

一人学びをもとに みんな学びの充実を図る 授業づくり

～個別最適・協働的な学びへの学習改善と教師の役割～

昨年度の課題

(到達度テストより)

- ・書く→条件作文
- ・読む→全体読み、要約、叙述に基づいた読み
- ・言葉の学習 ・音読、速読 ・情報の活用と整理

(授業や日記より)

- ・対話の豊かさ ・語彙の量 ・表現力

身に付けさせたい力

- ・自分で切り開く主体性
- ・たくましさ
- ・人と協働する力
- ・幅広い視野と考え方
- ・基礎学力
- ・活用力

GIGA

- 一人一台タブレットの活用
- ・情報モラル
- ・情報活用能力の向上
- ・個別最適な学びの推進

課題解決への具体的な活動

語彙力向上

- コトバンク (辞書引き)
- 読書通帳
- 読書タイム

表現力向上

- 音読・対話・少人数グループの活用

基礎学力の定着

- おの検定
- 到達度テスト
- 5・6年生定期テスト (学期末テスト)
- さかのぼり学習 (言葉の学習)

教師の役割

授業づくり(学習改善)

一人学びとみんな学びを取り入れた授業

- ・一人学び →自分の力で意見をつくる
→ふり返りで学びを言語化
→個別最適な学びの推進
- ・みんな学び→新しい考え方・見方の獲得
→人と協働する良さの体験
- ・高学年の教科担任制

集団づくり

- ・なかよし班の意図的な活用 そうじ・遊び

個々の把握(児童理解)

- ・複数の教師の目で児童理解を深める
- ・客観的データ (アイ・チェック)

体験学習の充実

- ・環境体験学習
- ・福祉体験学習
- ・自然学校 など